

刊夕 日八十月二



定額一圓五角... 發行所 常警日新新聞社

霜月寮閑話

(四)

平自營會

白土五郎

自由と安心を求め却つて自から縛るものである、佛教で信と智慧を並行的に進めて行くべく教へてゐることは當を得たことである。

○業に就いて

業と云ふ觀念は印度思想の特色である、従つて佛教の中に業に就いて説くところが非常に多い、いや業が基礎になつてゐる。

この業は日本人には常識的になつてゐるが業とは何ぞやと云ふことになると解つてゐる人は何人あるだらう、それで私はこの業に就いて少しく、考察して見た。

十二因縁の輪廻説も無明の業から成立してゐる、これを斷滅して解脱するには如何にするかが佛の教である。

それでは業とは何んぞやこれも説く人々に依つて異つてゐるが、業とは方向を決定す力でそれ自身が決定力を有するものである。と云ふ、この業が自己來世以前から考へる時には宿命説になる、この宿命説は現在佛教日本に流通して來た佛

教には根強く喰入つてゐる教理として見る時にはさほどでもないが、佛教徒大衆の生活を見ると宿命説即ち前生の業に依つて、現在はおかくなつてゐる、と云ふ思想が坊さんの頭を支配してゐるであるがこの業を自己の所行に依つて生ずるとすると自己の所行に依つてどうにもなることになる、かくすると、こゝに佛教特有としてゐる因縁説が大きな力を生むのである。そこで宿命説は打破し得るのである。

○

私は佛教の因縁説はよく知らないが、現在の自己の所行に依つて集積した、業に依つて規定されて居り、

- ◎明日の献立◎

- ◎眼味噌汁—納豆 小付

- ◎梅干甘露煮

- ◎【晝】付けやき 半ぺん 小付 すじめやき

- ◎【晩】フライ お浸し ほうれん草 柚子酢

そして將來の自己に對しては現在自己の所行がこれと自由にし、自己、世界は自業即ち自己の所行に依つて展開して行くところに佛教の特色があるではないか、佛典を讀むと釋迦に至るところで、宿命説的業觀を

打破してゐる、そして精進と不放逸を奨めてゐる前にも述べたやうに往生と云ふとすぐ死後のやうに考へるが現實的生命の中に味合ふことが妥當だと思ふ、言ふところの三世因果説と固執する時には現在の教育を受けたものは離れて行くであらう、あれは一つの説教、方便として取扱ふべきである、だが多くの坊さんは、業を三世因果の中に見だそうとする、従つて現在生活を穢土として厭離し、死後の世界を淨土として欣求する、ある一部のものは業をかく時間的に考へずに心の力として取扱ふてゐる、これが心業である、三界は悉く心に依つて作られ、また三界は皆一樣に心に收ると云ふ、即ち一功の萬有を一心に統一することになるのだ。

井坂醫院

平町 田町 電話五五九番

藤沼醫院

平町・紺屋町 電話五〇七番

Advertisement for '造花' (Zōka) funeral home, listing services like '神佛葬具' and '霊柩自動車'.

Advertisement for '吉田眼科醫院' (Yoshida Eye Hospital), listing staff like '西丸政雄' and '西丸辰治'.

Advertisement for '桑原柔道整骨院' (Sawara Judo Chiropractic), featuring 'ほねおぎ' and '平野園下電話六六四'.

Advertisement for '原齒科醫院' (Hara Dentistry), listing '齒科口腔外科' and 'レントゲン科'.

Advertisement for '市原醫院' (Ichihara Hospital), listing '産科' and '婦人科'.

Advertisement for '井坂醫院' (Iizaka Hospital), listing '産科' and '婦人科'.

Advertisement for '金成醫院' (Kaneshige Hospital), listing '外科' and '内科'.

縣下一の運男

『釘本さん』が出ればと
心境明朗な
本郡出身の田子健吉君

泣くも笑ふも今日一日明けて二十日は肅正政戦へ下される裁断の日だ、焦慮不安自惚れなど錯綜した選挙に付きもの、雰囲気他所に懸下一の「俺らが春」を稱へる好運な落選男が居る——石城郡三阪村出身元縣議員田子健吉氏がそれだ

昨年九月の縣議選挙に石城政友部豫選會でゴタ／＼揉めた揚句地盤を先輩小野晋平氏に譲り出馬を断念した田子君は其後政友支部の懇望もだ／＼難く福島市から擁立され釘本民政幹事長や佐藤元治氏の民政兩候補を向ふに

警官がトップを切つた 平町の不在投票

平署警官中には二十名の有権者あるため柴田署長から職務上の棄権を防止する意味で不在投票をなす様示達されたが昨十七日同署會計係の巡查部長金子千代吉氏は縣ト警察官不在投票のトップを切つて投票した因に同氏は投票日當日は管内澤渡投票所へ監視に出張不在となる爲である

飯澤検事來平 宮城控訴院次席飯澤高氏は

平第二校の 家庭實狀調査

平第二小學校では兒童の家庭に於ける環境調査に引續き家事科の實際指導の資料として高等科生二百六十五名に付各家庭に於ける衣類の保存法其他に關して調査したが衣服に就いては洋服を着用する人が
大人男一四六 女二
小人男八六 女一四四
衣服裁縫は
自宅でのみ二三七 裁縫

今秋平第一校で 學校衛生研究會

小學校兒童の保健上重要な學校衛生に就いては平町各小學校に於ても近年盛んに研究實施されてゐるが過般行はれた縣下小學校長會では縣教育課で昭和六年より九年に至る小學校衛生視察研究會が縣内百十三小學校を終了し顯著な成績を挙げた結果、本年度に帝國衛生會で各小學校が表彰された外昨年明治節には縣學校衛生會から小學校並に關係者の表彰續出し、兒童の健康上誠に喜にすべき實績を擧げてゐる爲本年も縣ト廿四小學校に於て視察研究會を開催することに決定したが石城郡内は第一小學校で行はれるべく大體今秋九月から十月に亘る二ヶ月間縣から小野寺學校衛生技師が出張して實際上の指導並に視察

役牛飼育の 講演會

警騎校で大好評 警騎校で大好評 泉、警騎兩村農會は昨十七日午後一時より聯合で警騎小學校に役牛に關する講演會を開き縣畜産課羽野技師の講演あつた
因に兩村では昨年農會の奔走幹旋で警騎村二〇頭、泉村三〇頭の改良和牛を購入使用してゐるがその成績見るべきものあるため今後共同牛の使役を依り深く考究して役立たせんとするもので改良和牛は使役後は肉食にも利用出来る爲縣羽野技師に就いて研究する處あつた

學齡前 盲啞兒童の

平町警城訓盲院では盲啞學齡兒童の義務教育の實施並に奨励金交付實現方に關する請願書を關係主務省並に貴衆兩院議長宛に提出することになり目下取纏中であるがその内容は左記の如くである
政府は速かに盲啞學齡兒童に對する義務教育制度を確立し之等兒童に相當の就學奨励金を交付せられんことを望む
尙本縣内の該當兒童數は現在二百餘名で全國では九千餘名に達してゐる

- △旋盤工見習 十八才 高卒
- △印刷工 廿六才 高卒
- △裁縫内徒弟 十九才 高卒
- △鐵工 廿三才 高卒
- △電気職工 卅三才 高卒

魚清のサービス

たらちりなべ	三十錢	さしみ御飯	二十五錢
ちりなべ	三十錢	吸物付	三十錢
あなごなべ	三十錢	天ぶら御飯	三十錢
親玉のよせなべ	三十錢	海老天ぶら	四十錢
かきなべ	三十錢	御飯吸物付	三十五錢
ねぎなべ	三十錢	海老天ぶら	三十錢
煮込なべ	三十五錢	海老フライ	三十錢
鳥なべ	三十五錢	天井	二十錢
豚なべ	三十五錢	親子丼	二十錢
かきフライ	二十錢	すし	二十錢
かき酢の物	二十錢	ちらし五もく	二十錢
あんことも酢	十五錢	御子様すし	二十錢
定食		まぐろすし	二十五錢
四品	五十錢	鐵火井	二十五錢
三品	五十錢	鐵火卷	二十五錢
五品	八十錢	好たけ卷	二十五錢
七品	八十錢	あなご卷	二十五錢

平二警察署裏通り 魚清食堂

電話六三三



玉屋洋品店
平町田町通電話六五六番

街頭清掃 談美

新春早曉の巷に 咲く未知の婦人

名も告げずに立去つた婦人に

木澤區長等が感激

ある

また、酌婦の

前借踏倒

周旋屋一杯喰ふ

春とは名ばかり平地方はまだ街路に凍りつく白魔の残骸を留めて嚴寒去りやらぬ今日此頃、約一ヶ月程前より引續き毎朝曉の午前五時を期して本町通り街路を清掃する奇特な婦人がある、その噂を聞いた古鍛冶町區長木澤常松氏は今十八日早朝より起床して此の婦人に逢つて事情を訪ねたが黙々として答へず土橋附近より本町通り舗装道路を竹箒で掃除してゐた由で、感激した同區長は附近の有志と相談の上何かの方法で感謝の意を表したいと目下身元調査中であるが同婦人は年齢二十才位で此の地方には珍らしいモンベ姿或は旅の婦人ではないかと見られて

平町田町周旋屋神谷清助方へ十二日午後八時頃酌婦に世話して呉れと訪れた北海道人室蘭市榮町生れ高山マス(三)は十三日神谷の世話で前借百四十圓で好間村大字中好間飲食店佐々木ステ方に住込んだが僅か二日で他に住替へたいからと神谷方に十六日戻つて来たが同日午後十一時頃入浴に行くと出かけたまま、逃走行方を晦ましたので神谷はマスは函館市生れの自稱中山捨吉(三)と云ふ情夫があり共謀での前借詐欺ですと平署へ

中島判事係り氏家検事立會酒井辯護士列席の下に開廷され先づ型の如く被告の身分調べより慎重な事實審理に入つたが、玉齋は書を賣却した價格の点で「大分値段が違ふ様です」と前提して小名濱明佐藤某、賣却した觀音像は二百六十圓の申立か僅か六十圓其他數點の價值の誤りの訂正を申立て更に依頼して書かせた石渡某へは一切の生活費を拂つた上一幅に付若干と手数料を支拂ふのだから元償も高い等彼一流の詭辨を揮ひ裁判長に「白地の儘の絹地の方が價值あるだらう」などと皮肉られ、犯罪の重要ポイントとなる現代日本書家名鑑に自己の名を名人級に列して欺瞞つた点では警察の陳述を翻して印刷者の誤であると頑張つたか中島裁判長の急所々々を衝く訊問はこの嘘八百の玉齋も言逃れ出来ず入る等傍聴の警女生を嬉しがらせて大體の事實を認めて證據調べに入り、玉齋の書いたインチキ書數点を側面に掲げて公判廷に珍らしく絢爛の繪巻をくり擴げたが午前中結審に至らず正午休憩に入つた

賣値が違ふ……と

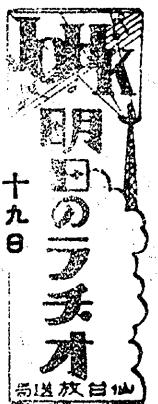
らそぶく玉齋

警女生も傍聴して

偽畫伯公判開かる

一般世人の繪畫鑑識眼の食しきにつけ入り郡内は小名濱町を中心に群馬、新潟、埼玉、山梨、福岡等々全國を跨りかけ稀代の詐欺を働

平署に檢舉された偽畫伯玉齋東京市板橋區大谷口居住詐欺前科三犯武田由次郎(五)に係る公判は今十八日午前九時三十分より平區



明日のラジオ 十九日 天 今夜は晴明日も同様

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- 少年音楽講座 外山國彦
- 後六、二五 青年の時間
- 「若連中の話」熊谷辰治郎
- 後七、三〇 講演一最近に於ける北支時局と經濟事情—高木陸郎
- 陸海軍の夕●
- 後八、〇〇 軍歌と吹奏樂
- 海軍軍樂隊
- 後八、二五 軍歌と吹奏樂
- 桃谷演奏所中繼大阪吹奏樂團
- 後八、五〇 ラヂオドラマ
- 「軍國子守唄」前進座
- 初瀬浪子他
- 後九、三〇 時報ニユース
- 明日の話題 氣象通報
- 番組預告
- 明日の部
- 後七、〇〇 英語講座(三)

青春を他所に

病弱娘服毒自殺

勿來町大字窪田小林已代作方同居人相馬郡金房村人宇小谷牛紺野キヨ(一)さんは十四日午後七時頃家人の隙を窺つて青酸加里を嚥下自殺したが原因はキヨさんは病弱で兎角思ふ様なことも出来ず悲觀した結果である

子鉄倉神社

祈年祭

廿五日は飯野八幡縣社子鉄倉神社祈年祭は本十八日午前十時より行はれ町役場より酒井助役鈴木兵衛主任出席尚縣社飯野八幡神社祈年祭は廿五行れる

自らの就勞金で

機關銃購入

平窪青年訓練生の美舉

平窪青年訓練所では過般來軍事教練に機關銃を購入する計畫を樹てゐたが同訓練生五十名は自分達の勞働金で購入したいと係員まで申込み昨十七日から三日間同村夏井川改修工事人夫に出役この勞銀約百五十圓に幾分足して購入することになった

拐帶男逮捕

平町搔穂小路堀江工會社事務員佐藤子吉(三)假名は去る七日社金二千餘圓を銀行に拂込に行く途中行方を晦まし

學童劍道大會

石城武徳會主催第二回郡下小學兒童劍道大會は來月十日の陸軍紀念日を卜して平町第三小學校で開催される

平町人事

回出生 南町六四松本萬吉氏長男守正さん

山崎合名會社 電話一〇番

宗正らひた

美味! 芳醇!

電話一〇番

- 交通) 佐藤弘
- 後三、一〇 教師の時間
- 「小學校に於ける兒童圖書室の經營」金守一
- 後五、三五 農村特別講座
- (四)「相馬藩の復興と報徳」注一佐藤弘毅
- 後六、〇〇 子供時間
- 琵琶 兒童劇「都鼠と田舎の鼠」
- 後七、三〇 講演
- 後七、五〇 講演一選舉肅正最後の十分間—木村匡
- 後八、〇〇 立體漫談
- 縣代他
- 後八、二〇 浪花節「憲法發布の祝日」津田清美
- 後八、五〇 連續講談「鼠小僧」(第一席)神田伯治
- 河町字道場小路三六 藤田力氏二男龍二さん

結ぶ瓦の設計

(著者)

悟道軒圓玉(作)
丸尾至陽(畫)



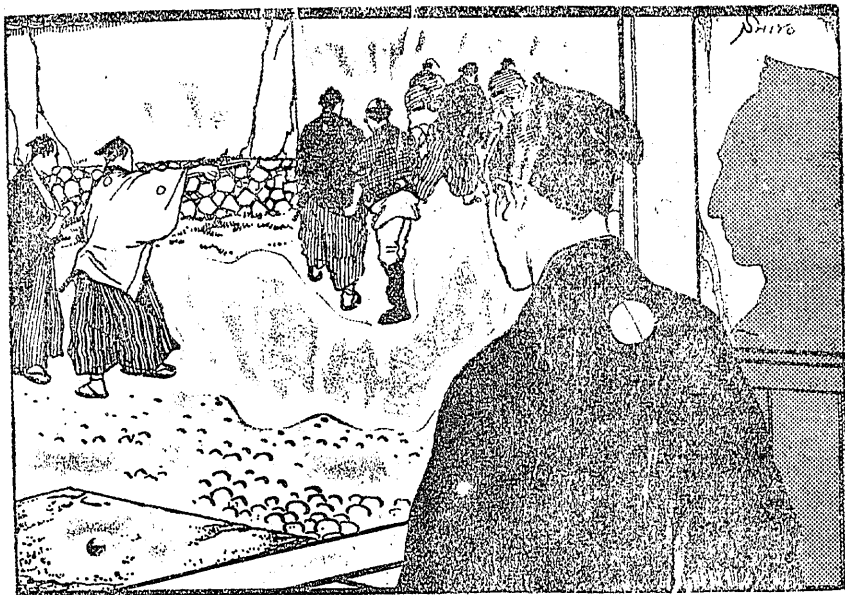
五〇 命の安賣り

内田萬之助は小五郎が大
笑いたしにびつくりして、
何んで桂が笑ひ居つたかと
アツと見てゐるその時に小
五郎はまた肩をゆすつてア
ハハと笑ひ

小「愚なことござる」
萬「愚なこととは」
といひつゞいと膝をす
ゝめた

小「愚なこととは馬鹿なこ
とでござる、これにても判
らねばさても白痴なこと
でござる、まづよく聞きあ
れ、その許は國事を憂ふる
志士であらう、身を捨て、
天下のためにつくす立派な
魂の持主、それほどの人物
が命の安賣をするとはをろ
かなことだ、國士の命はさ
う安く賣れるものではござ
らぬ、成るべく高く賣らね
ばなるまい、ここで死ぬ
は犬死と存する、その犬死
を望むはをろか者ならずば
狂人、それ故手前が笑つた
がそれが過りかな、イヤ馬
鹿々々しきことだ、こゝに
て死する命をながらへて他
日國家のために投げ出すが
よろしからう、その許が今
日の義舉に加はらぬは命を
惜みしことではないさすれ

ば誰に恥ぢ入るところも
ござるまい、然るに生きて居
つては同志の者にあざけら
れるであらう、それらを思
ふて腹を裂かむと決心なさ
れたとのこと、まことにい
さぎよきこととは思ふが、



大事をあげる者として
と膽が小さいなかういふ場
合には心が狂ふものだ、よ
く魂を落着けて考へて見な
さい、まづこゝは死ぬ
るはやめるがよい、死ぬ
るところはこれから先幾度も

ござらう、いよ／＼こゝぞ
死ぬべきところと思はれた
ときにズバリと命を投げ出
すこそ眞の國士である、手
前などもこの國家多端の今
日何時死期が参るか早く死
ぬる時が参ればよいとそれ
を待ち受け居れど、今以て
その時機が参らぬ甚だそれ
が遺憾、しかし遠からず命
をすつる時も参るであらう
その時には貴公も共に死に
ますぞ、一体大丈夫たるべ
きものは人の言葉などに心
を動かしてはいかぬ、また
死といふことは難に似て易

きことだ、決心いたさば愚
者も笑うて死ぬ、堪へがた
きことを耐え忍び、しかし
て大事を成し遂げるこそ眞
の男子であらうか、先づ命
の安賣はよろしくない只今
も申した通り成べく命は値

よく賣るがよろしい」とい
はれて内田は考へてゐたが
萬「然らば何といたしたも
のでござらう」
小「まづ當分こゝに居つて
世の形勢をうかがひ、こゝ
ぞ死ぬ時節と思つたならば
死するがよい、それまでは
何れにか身をかくして機會
の來るのを待ち受け、天下
のためにつくすがよろしか
らう」

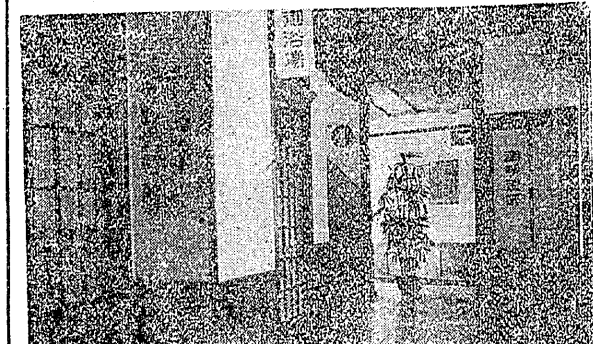
といつたが、この時何と
なく屋敷がさわがしい、桂
はその部屋を出て家來の勇
藏を呼び
小「勇藏、大分さわがしい
が何だ勇安藤様に、傷をつ
けた浪人がお屋敷へ逃げ込
んだとかのこと、お目付
がお長家をしらべてゐるさ
うでございます」
小「ウームさうか、それは
飛んだものが、飛び込んだ
な」
と云つたが、内田の居る
ところへ引つ返して來て
小「貴公がこゝに参つたこ
とは役人共は知るまいが坂

店主	が	店員
を	連	れ
か	れ	る
正	シ	イ
正	シ	イ
正	シ	イ
酒	場	茶
堂	茶	堂

平・田町
レストサロン
電三五二番

下門の一件について浪士の
内にのがれた者があるため
この屋敷内もしらべて居る
とのことだ」
萬「左様にございますか、
役人共の手にとらへられ、
ごうもんにかゝるは残念、
こゝにて自殺いたす」
小「またしても貴公は命の
安賣をするか、まア、手
前と同行なさい、貴公の命
は手前があづかり置く」

看護婦急派
求めに應じ
ます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七



呼吸疾患救済の王……
陸海軍御用
帝國大學醫學部御用
官公立醫學專門學校御用

吸入用酸素
體溫計(メートル)

御用命次第迅速に御届け致します
平町古鍛冶町一〇縣社ノ下

處方箋調劑所 阿康藥局
電話 四四番
振替口座東京三〇六番

百度有難う存じます
レスト
平岡館
電624

小瀧へ!!

宿泊料	1.50	2.00	2.50
日歸浴席料	.20		
自炊料	.50	.80	
料理一定食	.80	1.00	1.50

(その他一品料理洋食)
効神痛、リウマチ、胃腸病、
痔疾、婦人病、逆上、中風、肥胖病
(内務省東京衛生試験所検定済)

備 撞球臺、高級ラヂオ、大廣間
讀書室、近代式浴場と洗面所、水
洗式便所、小動物園、タクシー
御子様運動器具

名物 川魚料理(うなぎ、鯉)蜂蜜羊かん

●女中數名入用●

常磐線湯本驛 小瀧鑛泉
御旅館 瀧の湯
御自炊
電話 (小名濱) 103番